



10/25

国東中学校

妊婦体験は、靴下をはくのも一苦労



9/9

安岐中学校

おむつ替えに挑戦



10/30

国見中学校

赤ちゃんが喜ぶバスカオルのプランコ



10/2

武蔵中学校

お母さんに赤ちゃんについて質問

特集 赤ちゃんが 学校にやってきた

～国東市・
思春期保健福祉体験学習～



「笑った、かわいい」、「あれ、泣いちゃった」、「嬉しい。抱っこして喜んでる」。これは、国東市内の中学3年生を対象に実施されている「思春期保健福祉体験学習」の一場面。中学校に地域の赤ちゃんとお母さんがやってきて生徒たちと直に触れ合う、心温まる交流体験です。

こうした学校での乳幼児ふれあい体験は、平成3年に厚生省(現・厚生労働省)が打ち出した「思春期における保健・福祉体験学習事業の推進」を皮切りに徐々に行われるようになり、平成20年の「学習指導要領(中学校家庭科)への明記」を経て、今日では全国の自治体で広く行われています。

現在国東市で行われている思春期保健福祉体験学習は、旧国見町で平成8年に始まりました。国東市への合併後も国見中学校のみで行われていましたが、平成26年からは市内の全4中学校で行われています。それは、性や育児についての知識を身につけるだけでなくとどまらない、「人間教育」ともいえる国東市独自の取り組みです。

今回の特集では、国東市で23年にわたって実施されている思春期保健福祉体験学習をご紹介します。

④ まとめ

生徒各自が感想を書き、本日の体験学習を振り返ります。生徒代表者がお礼のあいさつを行い、松田先生より講評と将来への励ましの言葉が送られ、体験学習は終了です。



③ 実習(30分)

2つのグループに分かれて、「妊婦体験」と「赤ちゃんふれあい体験」を交互に行います。松田先生、市の保健師、学校の先生が協力して体験の指導・補助を務めます。

【妊婦体験】

約8kgの妊婦体験ジャケットを着て歩いたり座ったりして、妊婦さんの“大変さ”を疑似体験します。男女が協力し、助け合いながら家事や育児を進めていく必要性を学びます。

【赤ちゃんふれあい体験】

松田先生や赤ちゃんのお母さんにアドバイスをもらいながら、実際に赤ちゃんを抱っこしたり、おむつを替えたりして触れ合います。お母さんに子育ての喜びを聞いたり、赤ちゃんへの疑問を質問したりして、育児への心構えを深めていきます。



妊婦体験



赤ちゃんふれあい体験

② 松田先生の講義(45分)

松田先生が、「赤ちゃんについてもっと知ろう」と題して、妊娠・出産時の母体の変化や、赤ちゃんの特徴について講義を行います。

専門的な内容をわかりやすく説明し、時にユーモアも交える松田先生の講義に生徒は引き込まれていきます。「命の尊厳」と「生命の神秘」という繊細なテーマを、大学教授ならではの硬軟織り交ぜた語り口で伝えます。



① オリエンテーション

生徒に本日の体験学習の流れを説明します。講師の松田先生(東九州短期大学)と、スタッフとして参加する市役所保健師の紹介を行います。



思春期保健福祉体験学習の
1日のスケジュール